

平成30年度 鹿児島大学歯学部公開講座実施報告

南 弘之

咬合機能補綴学分野

講座名：高齢者の誤嚥性肺炎防止に関する解剖学的、生理学的、細菌学的解説

開催地：薩摩川内市川内文化ホール

開催日時：平成30年12月1日（土）16:00~19:00

主催：鹿児島大学歯学部

鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科 地域連携高齢者歯科医療学センター

共催：薩摩川内市歯科医師会

鹿児島県歯科医師会

（在宅療養支援歯科診療所の施設基準研修会を兼ねる）

後援：鹿児島大学 産学・地域共創センター

講座の趣旨・内容：

誤嚥性肺炎の原因の1つは、嚥下機能障害のため唾液や食べ物などと一緒に細菌を気道に誤って吸引することである。嚥下機能の低下した高齢者、脳梗塞後遺症やパーキンソン病などの神経疾患や寝たきりの患者に多く発生し、生命に関わることもある重大な疾患である。対処法として、口腔ケアの徹底や嚥下指導が重要視され、歯科医療従事者が関わる機会も増えていることから、本講座では、加齢に伴う咀嚼・嚥下機能に関わる解剖学的・生理学的変化と、細菌に対する対処法について解説した。

受講対象者：

高齢者歯科診療、訪問歯科診療に携わる方

プログラム

1. 挨拶、導入 司会進行 南 弘之
2. 開会の辞・挨拶
薩摩川内市歯科医師会 宇都 博幸 会長
3. 加齢に伴う顎骨と筋群の解剖学的変化
解剖法歯学分野 田松 裕一 教授
4. 高齢者の誤嚥性肺炎防止に関する生理学的解説
口腔生理学分野 齋藤 充 教授



5. 誤嚥性肺炎とその防止のための細菌学的示唆

口腔微生物学分野 小松澤 均 教授

6. 閉会の辞

薩摩川内市歯科医師会 銀屋 一彦 副会長

本年度の歯学部公開講座は、平成30年12月1日（土）に、薩摩川内市川内文化ホールにて、薩摩川内市歯科医師会および鹿児島県歯科医師会の共催、鹿児島大学産学・地域共創センターの後援のもと、在宅療養支援歯科診療所の施設基準研修会を兼ねて開催された。

講演は、薩摩川内市歯科医師会の宇都 博幸 会長による開会の辞で始まった。

最初に田松教授が、歯の喪失に伴う顎骨の形態変化と、摂食・嚥下に関与する筋群とそれらの加齢に伴う変化について、剖出写真を用いて示された。続いて齋藤教授は、正常な咀嚼・嚥下を促す因子とそれらの加齢変化、問題への対処法について、解剖学的要素も交えて解説された。最後に小松澤教授は、誤嚥性肺炎の起炎菌と防止策、薬剤耐性菌と抗菌薬の適正使用に関する講演に加えて、歯学部の教育についても紹介された。

講演後に、薩摩川内市歯科医師会の銀屋 一彦 副会長より閉会の辞を頂き、公開講座を終了した。

出席者は、歯科医師22名、歯科衛生士4名の計26名であった。各演題とも熱のこもった講演となり、十分な質疑応答の時間が確保できなかったが、講演終了後

に講師に直接話しかける参加者もみられた。また、「多くの研修会があるがこのようなベーシックな研修会はなかなか無いので大変興味深く為になった」、「3人の教授の先生方の講義を続けて受けるのは学生の時以来で感慨深いものがあった」などの感想が寄せられた。

講座終了後には薩摩川内市歯科医師会の忘年会を兼ねた懇親会に招いていただいた。宇都会長をはじめとする鹿児島大学の卒業生や、鹿児島大学のいずれかの講座に在籍しておられた先生もおられ、非常に活発な交流の機会となった。大学と歯科医師会の関係強化、また大学と地域の橋渡しの役目を十分に果たしたと考えている。

最後に、本公開講座の開催にあたりご尽力いただきました、薩摩川内市歯科医師会の重田 浩樹 専務理事、鹿児島県歯科医師会の黒木 敦朗 会員部会担当専務理事、鹿児島県歯科医師会の事務局の方々をはじめ、実務に携われた皆様に厚くお礼申し上げます。また、公開講座の準備・実施にご助言、ご尽力いただいた、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科等事務部総務課庶務係の楠原 良成 係長を始めとする関係諸氏に感謝いたします。

